

指導教官だより

2022 多目的実習 No.25

29日(水) 06:00、浦郷湾に錨泊中の神海丸は錨を上げ西郷港に向けて航行。09:00 西郷港へ入港した。

水産練習船神海丸! 凄腕男達!



6月29日 07:10 「おはようございます。朝のミーティングを始めます。」船長のその言葉が全ての始まりだった。船内全ての部署が統一しイカ釣り漁労設備の撤去作業を行うことになった。実施予定期間は2日。3年ぶりの撤去作業だった。乗組員の中には未経験者もいた。全長約70mの神海丸に設置された漁労設備は大量かつ重量。実習生と乗組員は撤去班と収納班とに分かれた。最高気温が30℃を超える中、午後も作業が続いた。「凄い暑さですね。明日までに終わりそうですか?」と聞くと、周囲で作業する実習生・乗組員の動きから目を反らすことなく一等航海士が言った。「我々、乗組員は太平洋でのマグロ漁業実習で鍛えられている。今日以上に暑い日もあるし、海が荒れ激しく船が揺れることもある。作業進行よりも実習生と乗組員の安全が一番重要」だと。午前2時間、午後3時間。2日間で計画されていた漁労設備の撤去作業は、事故も無くわずか5時間で終了した。凄腕だ!!

作業前ミーティング



集魚灯の配線運搬



集魚灯の収納



高所の電気配線もあつという間に外された



お~い! 休憩しようか!



大量のイカ容器



指を挟むからOO君、先に手を離して!